

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	非閉塞性無精子症の患者に対する精子回収のアウトカムに関する探索的研究
研究責任者	聖隷浜松病院 泌尿器科 脇 政順
研究実施体制	研究施設： 聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日
対象者	【対象患者】2005 年 10 月から 2024 年 12 月の間に当院において非閉塞性無精子症と診断され、精子回収術を施行した患者さん
研究の意義・目的	非閉塞性無精子症（NOA: non-obstructive azoospermia）は精巣内での精子形成障害により精液中に精子が存在しない病態であり、不妊症の原因の一つです。 近年、顕微鏡下精巣内精子回収術（micro-TESE）などの技術により、一定の割合で精子回収が可能となり、顕微授精（ICSI）に用いることができるようになりました。しかしながら、精子回収率を左右する因子について様々な研究がされていますが臨床現場での指標として確立するには至っていません。このため、より詳細な解析が求められています。（J Urol. 2013 Feb;189(2):638-42.）。 本研究では、既存の診療録データを解析し、患者背景、ホルモン値、組織学的所見などから精子回収の予測因子を明らかにし、臨床応用につなげることを目的としています。
研究の方法	【研究のデザイン】後向きコホート研究 【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 【主要評価項目】 非閉塞性無精子症と診断された患者における micro-TESE における精子回収率 【副次評価項目】 非閉塞性無精子症患者における Y 染色体微小欠失に異常を認める患者における micro-TESE における精子回収率 【変数】 身長、体重、年齢、主訴、既往歴、ホルモン値、精巣容量、染色体異常の有無、Y 染色体微小欠失の有無、精巣病理学的評価、精子回収の有無
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただ

	くことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 泌尿器科 脇 政順 TEL:053-474-2222(代表) 泌尿器科外来 9:00～17:00 平日